

ゆかりの埋蔵文化財

①秋山太郎光朝供養の経筒及び付属品



県指定文化財 伝 秋山経塚出土
秋山光朝館跡とみられる熊野神社付近で、江戸時代に発見されたものと伝わる。光朝の悲運の最期をうけ、その弟光経(経光ともいう)が一族の安寧を祈って埋納したものとみられる。
出土したのは建久8年(1197)銘の鑄銅製経筒2点、銅板製外筒1点、和鏡1点、刀身3点、常滑産の陶製甕の計8点

②雁又鎌



弓矢の鎌は目的によりその形が違い、雁又鎌は二股のやじりて武芸で用いられる弓矢である。
中世武士団の特徴を示す資料といえ、市内では、加賀美氏、小笠原氏にゆかりの深い寺部と小笠原から出土し、まさに武士の活動を裏付ける出土資料といえる。一の出し遺跡(小笠原)は小笠原長清公館跡に近接し、寺部村附第6遺跡(寺部)は両家により流籠馬が奉納されていたと伝わる神部神社に近しい場所である。

左:寺部村附第6遺跡(寺部)、右:一の出し遺跡(小笠原)

コラム Column

加賀美から始まる礼法歩み

小笠原といえば、小笠原流礼法...小笠原流流籠馬...小笠原流馬...などなど、日本人の多くが知っていることでしょう。実は、これらはみな南アルプス市小笠原と関係があります。また、南アルプス市加賀美、秋山、小笠原、この3箇所の地域もまたそれぞれ深い関わりがあるのです。
平安時代末、貴族の社会は終りを迎え、源氏と平家の2大勢力の時代を経て、源氏による鎌倉幕府の時代が幕を開きます。
関東武士団の中で最も実力者が集まっているのが甲斐の源氏一族「甲斐源氏」と言われ、またその中で最も成功し、後の世に名を残す一族がここ南アルプス市を舞台に活躍していたのです。
加賀美を本拠地とした加賀美遠光を父親とし、長男光朝は秋山を本拠地としたので秋山光朝、次男長清は小笠原を本拠地としたので小笠原長清と名乗ります。
二人とも甲斐源氏の中でトップクラスの出世頭でしたが、光朝は平家源氏家の娘である妻と、源氏の旗本で苦しむ悲劇の最期を迎えます。父遠光は弓術の名手で、鳴弦の術で天皇を救ったという逸話を残しています。次男長清もまた父の技術を受け継いで弓馬術に秀で、源頼朝の信頼を得て流籠馬の作法を制定します。室町時代以降も子孫たちは代々將軍家の師範や大名となり、その伝統はやがて小笠原流礼法・小笠原流流籠馬として現在でも全国に知られているのです。

平成19年度埋蔵文化財保存活用整備補助事業
南アルプス市教育委員会 文化財課
☎055-282-7269

平安時代から鎌倉時代にかけてこの地を舞台に活躍し、全国へと羽ばたいた甲斐源氏の一族。市内では古代～中世の遺跡も多数調査され、それらは一族の活躍を彷彿させます。

③新居道下遺跡(現甲西バイパス・中部横断道)



竪穴住居址調査風景(古墳時代後期)



古墳時代後期のムラの跡が発見された。また弥生時代～古墳時代前期の溝跡なども発見されており、弥生時代以降、連続と人々が暮らしていたことがわかる。



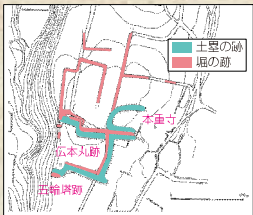
古墳時代後期の土器



古墳時代後期の土器(出土状況)

④椿城跡(農地)

またの名を上野城とも呼ばれる。農道整備時の発掘調査により中世の溝跡が発見されています。また、地中レーダー探査により溝や土塁で区切られたいくつもの空間や、多数の地下式坑が築かれていたことが分かった。



椿城想定図

⑤油田遺跡(現甲西バイパス・中部横断道)

平成5・6年に発掘調査を実施。弥生時代中期の地震の痕跡や古墳時代後期の祭祀跡、平安時代の水田跡など、弥生時代から連続と生活が営まれていたことがわかる。

⑥宮沢中村遺跡(現甲西バイパス・中部横断道)

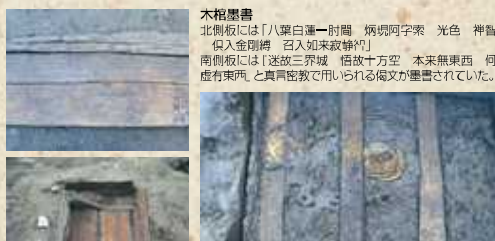
平成6・7年に発掘調査を実施。鎌倉時代の水田を守るために築かれた護岸用の網代が発見された。洪水の土砂で埋まりながらもそのつど復旧し、水田やムラを守り続けてきた人々の逞しさを知ることができる。

⑦二本柳遺跡(現甲西バイパス・中部横断道、現農道)



水田調査風景 昔の人々の足跡もそのままの状態で見つかった

中世の水田跡とともに溝によって区画された戦国時代の寺院跡が発見された。加賀美遠光の館跡とされる法善寺の塔頭「福寿院」の跡で、16世紀を中心とした木棺墓などが発見されている。



木棺墨書
北側板には「八葉白蓮一肘間 病勢阿字梁 光色 禅智 俣入金剛持 召入如来寂靜印」
南側板には「送故三井城 悟故十方空 本来無東西 何處有東西」と真言密教で用いられる梵字が墨書されていた。



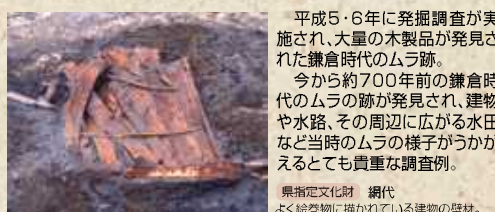
木棺(戦国時代)
蓋が土庄でつづられてしまっている。蓋には「南無大日如来」を示す梵字(オンピラウケン)が墨書されていた。

兜の飾り金具(戦国時代)

⑧大師東丹保遺跡(現甲西バイパス・中部横断道)



くいは西側へ倒された状態で出土し、至無川の氾濫に通常残りにくい木製品が大量に発見された。



平成5・6年に発掘調査が実施され、大量の木製品が発見された鎌倉時代のムラ跡。
今から約700年前の鎌倉時代のムラの跡が発見され、建物や水路、その周辺に広がる水田など当時のムラの様子がうかがえるとても貴重な調査例。

県指定文化財 網代
よく絵巻物に描かれている建物の壁材。



ふるさとの歴史を楽しもう
か い げ ん じ
甲斐源氏
ゆかりの史跡を歩く

南アルプス市を舞台に活躍した加賀美遠光とその子供たちは弓や馬の武錬倉幕府創立の立役者なんだよ。



